

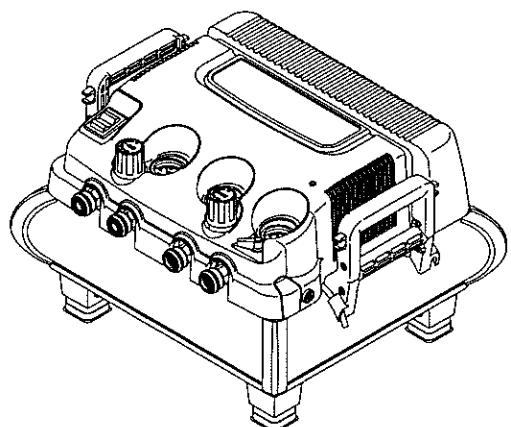
ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしとすまいのために……

Makita

取扱説明書

エアコンプレッサ モデルAC3302



このたびはエアコンプレッサをお買
い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお
読みいただき本機の性能を十分ご理解の上
で、適切な取り扱いと保守をしていただい
て、いつまでも安全に能率よくお使いくださ
るようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元
に大切に保管してください。



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 炎天下や高温となる場所では使用しない。
- 雨や水の掛かる場所では使用しない。
- 延長コードは太さ2mm²以上、長さ30m以内のものを伸ばして使用する。
- 元電源には必ず漏電しゃ断器を通して接続する。
- 発電機での電源は絶対に使用しない。
- 本機は水平で安定したゴミ・ホコリの少ない床面に設置し、冷却風の吸い込み口周辺は空間を十分に確保する。
- 撥発性可燃物(ガソリン・シンナー・プロパンガス等)のある付近では、絶対に使用しない。
- 移動時及作業終了時は電源スイッチを切り、ドレンコックを開きタンク内のドレン・圧縮空気を排出する。
- 本機に接続するエアホースとホース金具は、充分な耐圧性があり、完全に固定されている事を確認する。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 改造や分解はしない。

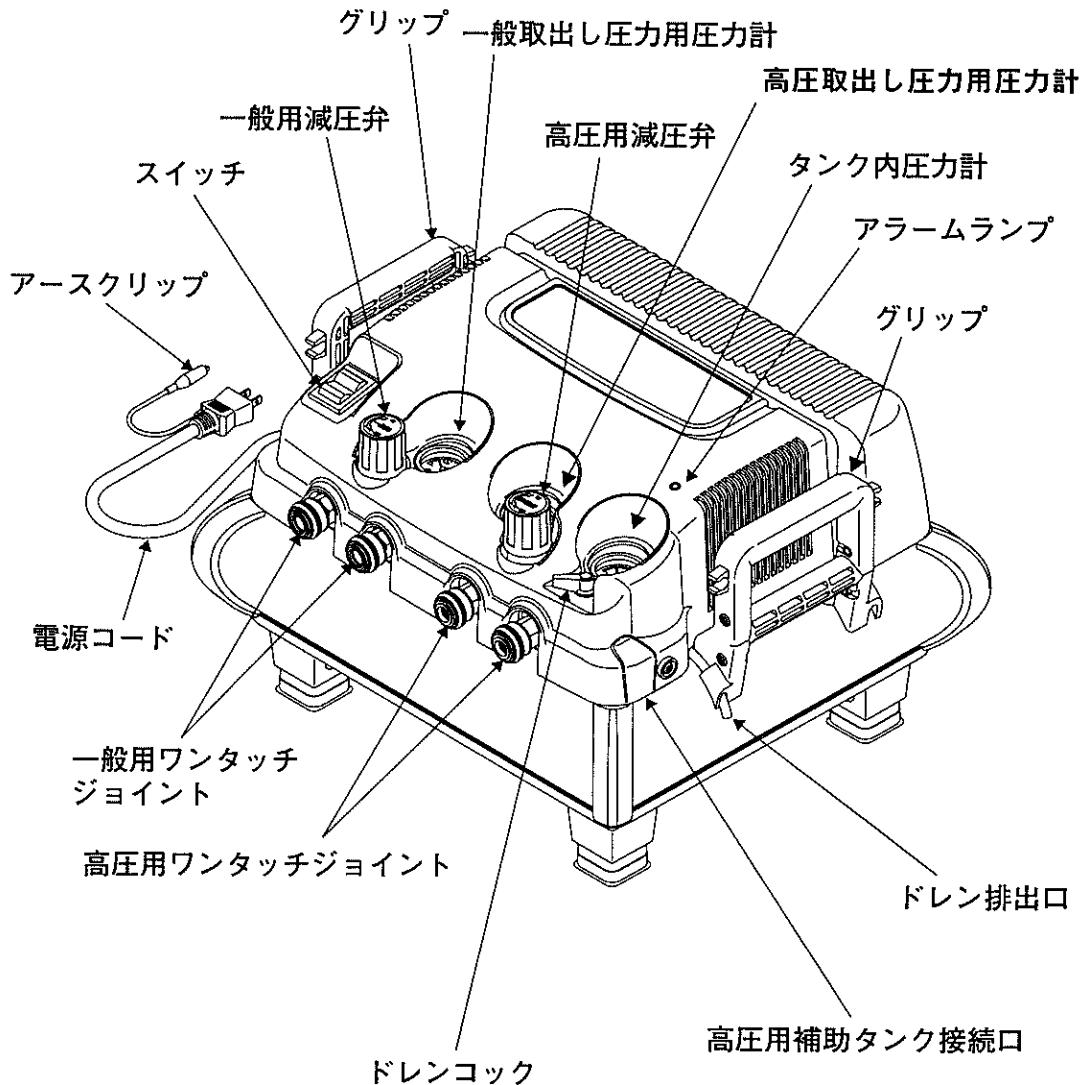
INDEX

1 各部の名称	1
2 安全上の注意	2
使用前	2
使用中	2
使用後	2
禁止事項	3
3 製品仕様	4
4 使用方法	5
運転準備・確認	5
運転の手順	5
減圧弁の調整方法	6
5 延長コードを使用する場合	7
6 補助タンクを接続する場合	7
7 アラームランプ(異常停止表示灯)	8
8 使用後の手順	8
9 運搬上の注意	9
10 保管時の注意	9
11 その他の注意	9
12 保守・点検	9

1. 各部の名称

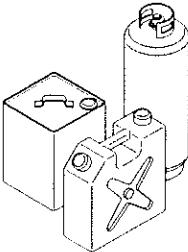
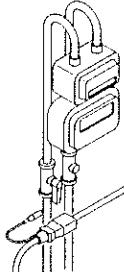
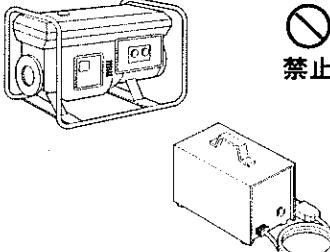
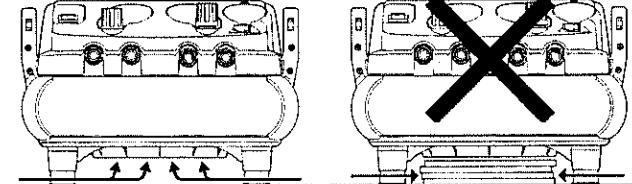
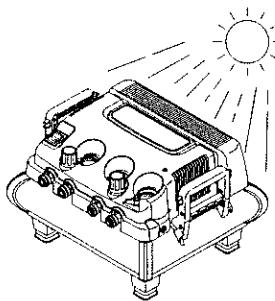
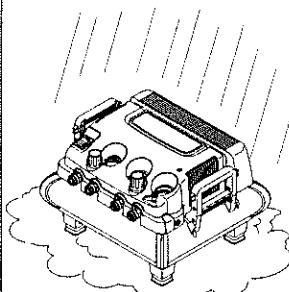
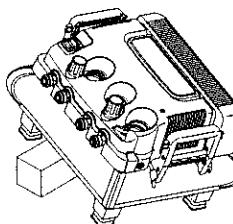
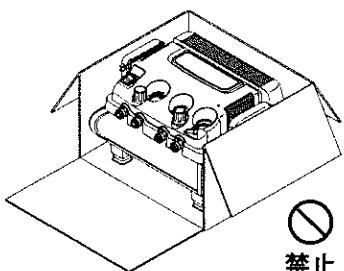
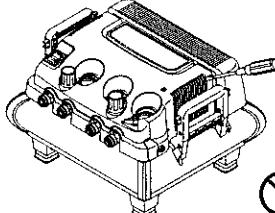
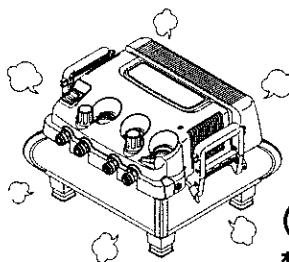
△警告

- 本機は釘打機などのエア工具を使用するために開発されたもので、連続運転の使用には適しておりません。連続運転には使用しない。
- 本機の改造・分解は絶対に行わない。



2. 安全上の注意点

禁止事項（行ってはいけないことを示しています。）

<p>揮発性可燃物（ガソリン・シンナー・プロパンガス等）の付近では、絶対に使用しない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>アースクリップはガス管には、絶対に接続しない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>エンジン発電機・昇圧器では使用しない。</p>  <p> 禁止</p>
<p>直流電流で使用しない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>吸気口付近は十分な空間を確保する。</p>  <p> 禁止</p>	
<p>直射日光の当たる場所に設置しない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>雨の当たる場所に設置しない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>水平な場所に設置する。</p>  <p> 禁止</p>
<p>狭い場所に設置しない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>吸気・排気口に異物を入れない。</p>  <p> 禁止</p>	<p>異常を感じたら、絶対に使用しない。</p>  <p> 禁止</p>

使用前

⚠ 警告

- 作業環境に応じて保護メガネ、ヘルメット、安全靴、防音保護具を着用して使用する。
- 元電源が A C (単相) 100V であることを確認する。
- 元電源は、20A以上の容量としてください。20A未満での使用はしない。
(起動不良やモーターの焼損の原因となります。)
- 元電源は、必ず、漏電しゃ断器を通して使用する。
- 漏電しゃ断器や設置については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
- 延長コードを使用する場合は、必ず、太さ2mm²以上、長さ30m以内のものを使用し、必ず、全長をのばして使用する。
- 延長コードを使用して他の電動工具と併用しない。
- エンジン発電機および直流電源で使用しない。
- 撥発性可燃物(ガソリン、シンナー、プロパンガス等)のある場所には、絶対に設置しない。
- 必ず、水平な場所に設置する。転倒や破損の原因となります。
- 電源コードに無理な力を加えない。断線やショートする原因となります。
- 高温や直射日光および吸気口や排気口をふさぐ状態での使用はしない。
- 雨や水分がかかる場所での使用はしない。
- 電源コードプラグの金属部には、絶対に触れない。特に濡れた手で触ると感電する恐れがあり、大変危険です。
- 使用できる外気温度は5~40度です。
- 接地線(アース)は、ガス管には絶対に接続しない。
- 開口部に指やドライバーを差込んだり、異物を入れたりしない。
- 補助タンク接続口に直接、釘打機などのエア工具を接続しない。
- ワンタッチジョイントに直接、エアセットなどの重量物を、接続しない。本機の振動や落下物などにより、配管部に無理な力が加わり、破損の恐れがあります。

使用中

⚠ 警告

- 上カバーの上部に、物を置いたり、すわったりすることは、絶対にしない。
- エア工具の最高圧力を確認し、それ以上の圧力には減圧弁を設定しない。
- 一般用ワンタッチジョイントには、耐圧0.98MPa (10kgf/cm²) 以上、内径6.5mm以上のホースを使用する。高圧用ワンタッチジョイントには、高圧専用のホースを使用する。
- 電源コードを差したまま、移動しない。電源に無理な力が加わり、断線・ショートの恐れがあります。
- 作業関係者以外は使用中に近づかない。
- 騒音に関しては、法令及び、各都道府県の条例で定める騒音規制があります。状況によって遮音壁を設けて作業してください。

使用後

⚠ 警告

- 使用終了後には、必ず電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜く。
- 使用終了後には、ドレンコックを開き、タンク内のドレン、エアを全て排出して、ドレンコックを閉じる。

3. 製品仕様

商品名		AC3302(青) AC3302R(赤)
寸法(幅×奥行き×高さ)		462×407×305mm
質量		20kg
モーター出力		1150W
空気タンク内最高圧力		約3.25MPa(約33kgf/cm ²)
回転数		1600min ⁻¹ (回転/分)
電圧		AC100V
空気タンク容量		10ℓ
圧力制御範囲	OFF圧力	約3.25MPa(約33.0kgf/cm ²)
	再起動圧力	約2.60MPa(約26.5kgf/cm ²)
圧力調整範囲	一般釘打機用	0～約0.78MPa(約8.0kgf/cm ²)
	高圧釘打機用	0～約2.45MPa(約25.0kgf/cm ²)
吐出量	0.7MPa(7.0kgf/cm ²)時	120 L/min
	2.3MPa(23.0kgf/cm ²)時	95 L/min
空気取出口	一般釘打機用	一般用ワンタッチジョイント2個
	高圧釘打機用	高圧用ワンタッチジョイント2個
	専用補助タンク用取出口	1個
減圧弁	一般釘打機用	1個
	高圧釘打機用	1個

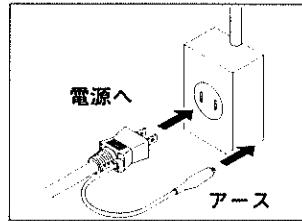
4. 使用方法

⚠警告

- 3ページの使用前の注意点を読み、説明内容に従い、本機の設置および取扱いを行い、下記の手順に従い、始動確認を行ってください。

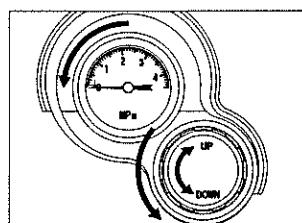
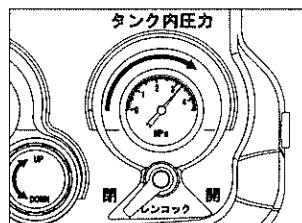
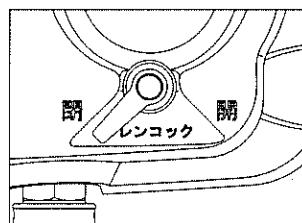
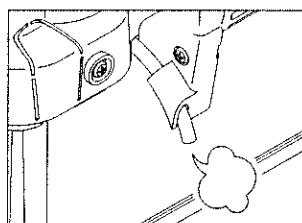
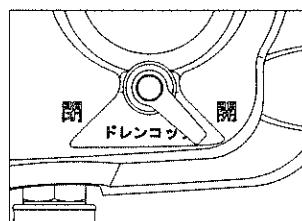
運転準備・確認

- 各部のネジ、ボルトにゆるみがないか確認してください。
- 本機の設置場所は、必ず凹凸のない水平な場所に設置してください。
- 電源は、必ず単相100Vを使用してください。発電機および直流電流の使用は出来ません。
- 元電源については、20A以上の容量にてご使用下さい。
- 接地(アース)を必ず行ってください。尚、接地工事につきましては、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にお尋ねください。



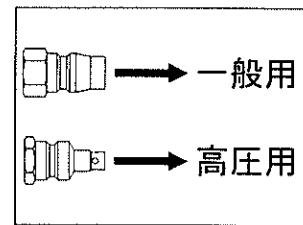
運転の手順

- ① ドレンコックを全開にし、電源スイッチを入れてください。
- ② モーターの起動とともに、空気圧縮が始まり、ドレン排出口から空気が出ている事を確認してください。
- ③ ドレンコックを閉めます。
- ④ 圧力の上昇が始まります。タンク内圧の圧力計で圧力が上昇している事を確認してください。
タンク内圧力は、最高圧約3.25MPa(約33kgf/cm²)まで上昇し、圧縮が停止いたします。
- ⑤ 減圧弁で使用圧力調整を行います。
圧力調整は、減圧弁で一度、「0 MPa(0 kgf/cm²)」まで下げた後、使用圧力に調整してください。
(高い圧力から下げて調整を行いますと、使用中に調整圧力が下がる場合があります。)
なお、減圧弁の特性により、調整した圧力が約0.2MPa(約2 kgf/cm²)程度上昇する事があります。



- ⑥ 本機には、一般用 [0～約0.78MPa(約8kgf/cm²)] と高圧用 [0～約2.45MPa(約25kgf/cm²)] の2種類の異なった圧力を使用する事ができます。

ご使用の際は、必ず使用する釘打機・エア工具の使用空気タイプを確認のうえ、一般用のエアホースと高圧用エアホースをそれぞれのワンタッチジョイント(一般用または高圧用)に接続して下さい。



- ⑦ 本機を運転する場合において、ラジオ等に対して電波ノイズが影響することがありますので、その場合、本機よりノイズが聞こえなくなる場所に離して設置して下さい。

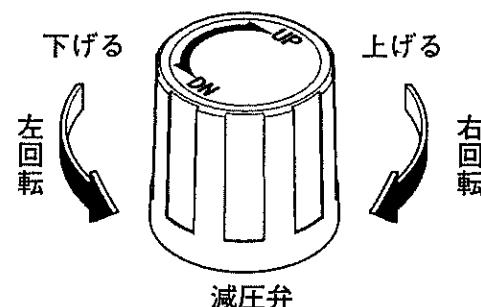
減圧弁の調整方法

圧力を上げたい場合

- 減圧弁を右に回転させます。

一般用は約0.78MPa(約8.0kgf/cm²)まで上げることができます。

高圧用は約2.45MPa(約25.0kgf/cm²)まで上げることができます。



圧力を下げたい場合

- 減圧弁を左に回転させます。

一般用、高圧用とも、0 MPa(0 kgf/cm²)まで下げる事ができます。

△注意

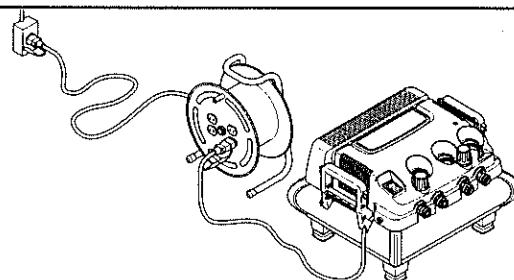
- 圧力調整は、必ず低い圧力から高くする方向で調整する。

5. 延長コードを使用する場合

延長コードを使用しますと電圧降下によるトラブルの原因となります。
なるべく延長コードのご使用を避け、直接元電源に接続して下さい。
なお、元電源から離れた場所で使用する場合は、延長コードの使用は避け、延長ホースでの使用をおすすめします。

△ 警告

- 延長コードを使用する場合は、必ず「太さ2.0mm²以上、長さ30m以内」のものを全て引き出し、のばした状態で使用して下さい。



6. 拡助タンクを接続する場合

△ 警告

- 拡助タンク接続口の止め栓を外す際は必ずタンク内のエアを抜いてください。

本機の拡助タンク接続口は高圧拡助タンク専用です。一般用の拡助タンク(1.0MPa
(約10kgf/cm²)以下)は、本機の一般用ワンタッチジョイントに接続し、ご使用ください。

高圧拡助タンクの接続方法

- ①拡助タンク接続口の樹脂カバーをカッター等で切り取ってください。(図1)
- ②止め栓(逆ネジ)を右に廻して取り外してください。(図2)
- ③高圧専用ワンタッチジョイント(逆ネジ)を左に廻して取り付けてください。(図3)

図1

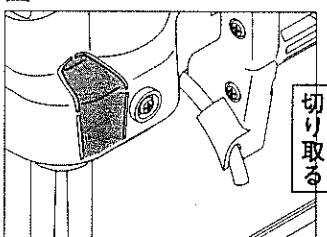


図2

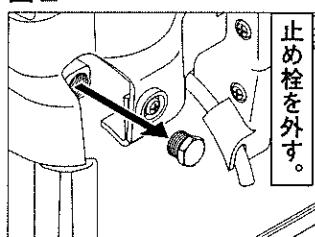
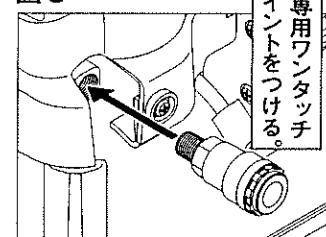
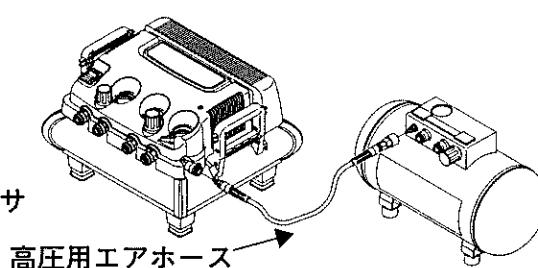


図3



エアコンプレッサ



高圧用辅助タンク

7. アラームランプ(異常停止表示灯)

本機には異常時発生の確認のために、アラームランプを搭載しております。

アラームランプは、以下の場合に点灯し、運転を停止致します。

- 極端に電圧降下が発生した時。
- モーターが異常に過熱した時。
- モーター基盤が異常に過熱した時。

アラームランプが点灯し、運転停止機能が働いた時は、電源をOFFにし、以下の内容を確認してください。

- 元電源の容量不足はありませんか？
- 延長コードの太さが2mm²未満であったり、コードリールを巻いたままの状態であったりしていませんか？
- 延長コードは30m以内を使用していますか？
- 他の電動工具と同一電源から使用していませんか？
- 冷却風排気口が風通しの悪い場所に設置されていたり、ふさがれた状態になっていますか？

上記に記載されている状況を確認し、原因を取り除き、モーターが冷えるまで待つて電源コードのプラグを接続し、電源スイッチをONにしてください。

それでも、起動しなかったり、アラームランプが点灯し、運転が停止することが発生する場合は、本機の故障が考えられますので、お買い求めの販売店または、弊社営業所までお問い合わせください。

8. 使用後の手順

- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いて下さい。
- ② ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内の圧縮空気をタンク内圧計が0 MPa (0 kgf/cm²)になるまで完全に排出して下さい。

⚠ 警告

- ドレンコックを急激に開放することは避けてください。大きな排出音が発生し、鼓膜が破れる恐れがあります。
- 顔に向けてドレンを排出しないでください。排出されるドレンには、サビ、異物、氷結物が含まれている場合があり、目に入りますと失明の恐れがあります。

- ③ 排出後は必ずドレンコックを「全開または全閉」にして保管して下さい。
エア漏れの原因となります。
- ④ ご使用になったエアホースをワンタッチジョイントから外してください。

9. 運搬上の注意

- 運搬は、丁寧に行ってください。
- 車での運搬は、本機に衝撃が加わることがないように安定した位置で、ロープで固定してください。
- 直射日光、及び雨・雪が当たらない様に保護してください。

10. 保管時の注意

長期間(約1ヶ月以上)ご使用にならない場合はドレンコックを開放し、5分間運転して、空気タンク内の水分をできるだけ排出し、錆付き防止対策を行ってください。

11. その他の注意

- 本機は、エア釘打・エアビス打ち機を対象として、設計・開発されております。長時間の連続運転の使用はできません。
- 寒冷地での使用において、起動不良が発生する場合、ドレンコックを開放し、5~10分間、暖気運転を行ってから、ご使用ください。
- エア釘打・エアビス打ち機以外を使用する場合は、ご購入の販売店、並びに弊社最寄りの営業所までお問い合わせください。

12. 保守・点検

本機を末永くご使用していただくために、以下の保守・点検を行ってください。

- ドレンを排出する
- 異常音・振動などの確認
- カバー・グリップのボルトの緩みの確認

ご購入後、3年または運転500時間を経過したら、お買い求めの販売店へ連絡し、点検を依頼し、消耗部品・損傷部品の交換を行ってください。

全国に広がるアフターサービス網

・お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	横原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖縄営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター		飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		